

『すぐそこ』にいるかもしれない。 クマ対策、あなたは大丈夫？

身近になりつつあるクマの出没

年々増加傾向にあるクマ被害や目撃情報。4月22日には県内でクマによる人身被害が発生、26日には福島市で2件目となるクマによる人身被害が発生し、「ツキノワグマ出没特別注意報」が発令されました。最寄りでは4月30日、国見町の国道4号線の中央分離帯付近を徘徊しているクマが目撃され、私たちの生活圏においても「いつ・どこで」遭遇してもおかしくない状況になりつつあります。

町の取り組み

町としても、緩衝帯整備や放任果樹伐採、やぶ刈り払いの業者委託による実施や、電気柵やワイヤーメッシュ柵設置の一部補助などを実施し、対策に取り組んでいます。また、有害鳥獣対策協議会で農作物被害防止について話し合うなど、今後もクマを含む有害鳥獣の被害を抑えるよう地域全体で対策をしていきます。



▲5月14日、町や猟友会、農業関係者が集まり、令和8年度有害鳥獣対策協議会を行いました。

Interview

クマの出没の現状と対策

昨今のドングリ豊作でクマの数が増加し、個体数の飽和によって人里への出没が懸念されます。熟した桃の匂いは格好の誘因となるので、廃棄時は土に埋めるなどの匂い対策をしてください。また、6月から子連れクマが増えてきます。普通のクマは音を出したら近づいてきませんが、子連れクマは子を守るため、逆に近づいてくる場合も。そのため、熊が出そうな場所には近づかないことが一番の自衛になります。



有害鳥獣対策実施隊長 畠 政光さん

クマに出会わないためにできること

①目撃情報を調べましょう

クマがどこにいるのかを知ることが大切です。県警のポリスメールや県が目撃マップ（右記二次元コード）を活用しましょう。



②屋外に生ごみ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを置かないようにしましょう

クマは餌に対する執着が非常に強いです。一度人間の食べ物や生ごみの味を覚えてしまうと、頻繁に人里へ出没してしまうため、熊の食べ物になるものを置かないようにしましょう。また、畜舎や小屋に進入し、餌を食べることもあるため、侵入されないよう対策しましょう。

③クマ鈴やラジオなど音のするものを身につけて行動しましょう

クマの生息している場所では、クマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、熊に自分の存在を知らせましょう。藪や河川敷に入る際は、事前に花火を打つなどして追い払いましょう。

④山菜採りや農作業を行う際は、複数人での行動、クマ鈴などの携帯を徹底しましょう

朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。